

第76期

76th BUSINESS REPORT

# 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日



**名工建設株式会社**

MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.

証券コード:1869

# ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第76期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の決算が確定いたしましたので、事業の概況と業績につきまして、ご報告させていただきます。

平成29年6月



代表取締役社長

渡 邊 清

## 1. 営業概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安や株高により輸出関連企業が景気を牽引したのに加えて雇用・所得環境が改善するなどして、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国やその他新興国の経済の先行き不安や英国のEU離脱問題、米国新政権の政策動向の懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況にあります。

建設業界におきましては、公共投資は低調に推移し、民間設備投資につきましては持ち直しの動きが見られるものの力強さはなく、労務費や建設資材を中心とした建設コストの上昇懸念は縮小傾向ではありますが、なお予断を許さない状況であります。

当連結会計年度における当社グループの業績は、受注高は前期比2.6%減の89,110百万円となりました。売上高は前期比2.8%減の89,120百万円となりました。利益面では、経常利益は前期比4.8%減の5,096百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比4.1%増の3,462百万円となりました。

## 2. 中期的な経営戦略及び会社の対処すべき課題

建設業界におきましては、公共投資は緩やかな減少傾向をたどることが想定されるものの、自然災害や社会資本の老朽化という問題を抱え、一定の水準が保たれると思われ、また民間投資は企業収益の改善等を背景に底堅く推移する見込みであります。

このような環境のもと、当社は平成27年度より第16次経営計画をスタートさせ、4つの経営目標を定め、「安全と技術の名工」「社員が誇れる企業」を目指すこととしております。

具体的な経営目標としましては、安全管理体制の更なる強化による「安全の確保と信頼性の向上」、東海道新幹線の大規模改修工事や脱線・逸脱防止対策工事など「大規模プロジェクトの確実な施工」、鉄道営業線の工事を基盤とした東海地方を代表する「ゼネコンとしての地位の堅持」、そして中長期的な要員を確保し効率化を推進しながら環境変化にしっかり対応できる「ゆるぎない経営の確立」の4項目を掲げ、全社を挙げて取り組んでいくこととしております。

当連結会計年度の業績は以下の通りであります。

受注高	891億10百万円（前期比 2.6%減） （内訳：土木工事 614億円 建築工事 276億円）
売上高	891億20百万円（前期比 2.8%減） （内訳：土木工事 584億円 建築工事 292億円 兼業事業 13億円）
売上総利益	97億45百万円（前期比 0.4%減）
営業利益	48億52百万円（前期比 5.1%減）
経常利益	50億96百万円（前期比 4.8%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	34億62百万円（前期比 4.1%増）

### 3. 配当について

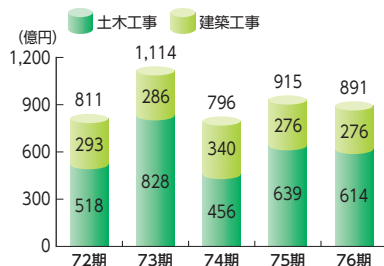
当社は安定収益を確保して、株主資本の充実や設備投資に備えた内部留保を行いながら、安定配当を行うことを基本方針としておりますが、当社グループの当期の業績や今後の事業展開を総合的に勘案し、1株当たり年14円と据え置くことにいたします。

当期の期末配当は1株につき7円とし、中間・期末合計で年14円の配当を実施いたしました。

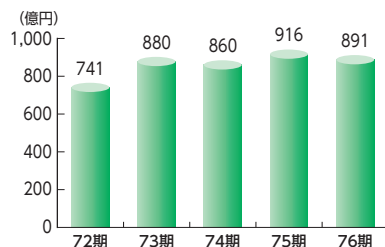
来期以降につきましても中間・期末の合算で1株当たり年14円の配当とする方針であります。

## 財務ハイライト（連結）

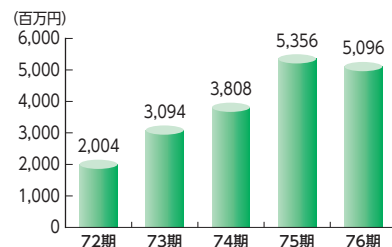
#### ●受注高



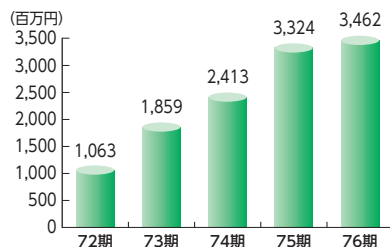
#### ●売上高



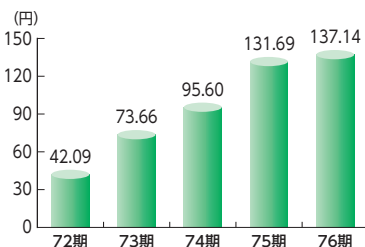
#### ●経常利益



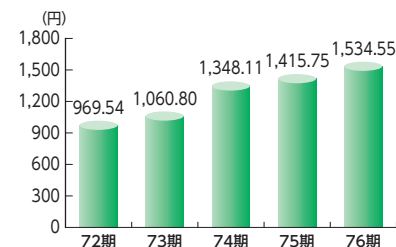
#### ●親会社株主に帰属する当期純利益



#### ●一株当たり当期純利益



#### ●一株当たり純資産額



## 部門別の概況（個別）

### 土木部門

土木部門におきましては、ゼネコンとして技術力を維持・向上していくため、国土交通省の動きに合わせ、CIM（現場管理の情報化）を活用した「総合建設生産システム」の開発・推進に取り組みました。また、安定的な官公庁工事の受注を目指し、多様化する総合評価落札方式に適切に対応するとともに、工事成績の向上、技術提案力・積算力・価格競争力の更なる強化に努め、採算性・効率性・特殊性を考慮した選別受注に取り組みました。

鉄道関連工事につきましては、安全・安定輸送の確保を最優先事項として取り組み、新幹線脱線・逸脱防止対策工事や耐震工事、維持補修工事を安全第一で施工し、顧客の信頼に応えることを最重点に事業を推進しました。

この結果、第76期における受注高は、中央新幹線工事や東海道新幹線大規模改修工事第Ⅱ期工事及び北陸新幹線工事などの鉄道関連工事、官公庁工事の大型プロジェクト工事受注などにより、目標は上回りましたが前期からの繰越工事の履行と官公庁工事の選別受注を行った結果、全体としては前期比3.8%減の614億円となりました。

完成工事高におきましては、東海道新幹線大規模改修工事における安全第一とした確実な施工を行った結果、前期比3.0%減の584億円となりました。

軌道関連工事につきましては、新幹線脱線・逸脱防止対策Ⅰ期（H21年度～H24年度）工事として、地震による被害拡大のおそれが大きい、高速で通過する分岐器、トンネル手前の区間を含む軌道延長140km（うち当社施工87km）の対策が完了しています。Ⅱ期（H25年度～H31年度）工事として、更なる安全性向上のため、東海地震の際に強く長い地震動が想定される地区及びその他地区の高速で通過する軌道延長456km（うち当社施工見込み278km）に対策を実施しています。当期はⅡ期工事4年目となり、工事は順調に進んでおります。また、海外工事におきましては、インドネシアジャカルタ都市高速鉄道南北線（地下鉄）軌道工事の業務援助契約を結び、平成29年2月より現地に社員を派遣し着手しております。

受注高につきましては、早期発注工事が順調に受注できたことと、えちぜん鉄道軌道敷設工事を受注したことで、217億円となり前期比19億円増となりました。完成工事高は、新幹線及び在来線の保守工事と新幹線脱線・逸脱防止対策工事が主体となり、209億円となり、年初計画では、210億円を見込んでおりましたので、概ね計画通りとなりました。

主な当期の受注工事は以下の通りです。

- |                                   |                  |
|-----------------------------------|------------------|
| ①道路改良事業 一般国道301号松平トンネル（仮称）建設工事    | （愛知県）            |
| ②橋りょう整備事業 県道羽島稲沢線 新濃尾大橋 下部工事（H28） | （愛知県）            |
| ③北陸新幹線、加賀温泉駅高架橋他                  | （鉄道建設運輸施設整備支援機構） |
| ④東海道本線柱町Bv新設                      | （東海旅客鉄道（株））      |
| ⑤新東名高速道路ぐみ沢下高架橋他1橋（下部工）工事         | （中日本高速道路（株））     |

主な当期の完成工事は以下の通りです。

- |                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| ①道路改良事業 一般国道151号太和金トンネル（仮称）建設工事 | （愛知県）            |
| ②つくばエクスプレス線、車両基地入庫線複線化          | （鉄道建設運輸施設整備支援機構） |
| ③身延線常葉川Bo上部工新設                  | （東海旅客鉄道（株））      |
| ④新東名高速道路 高森第二高架橋他3橋（下部工）工事      | （中日本高速道路（株））     |
| ⑤東海北陸自動車道 切立橋他1橋（下部工）工事         | （中日本高速道路（株））     |

## 建築部門

建設業界におきましては、受注環境は堅調に推移しましたが、中長期的な建設投資が流動的であることと、労務費の上昇や技術者の確保問題が想定されたため、得意工事の確立を目指した計画的な選別受注と、設計施工物件の受注を拡大すべく設計力の強化を念頭に置き事業展開しました。

建築部門の受注高は、官公庁工事71億円、民間工事186億円で、合計は前期比2億円減の258億円となりました。

主な当期の受注物件は下記の通りです。

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| ①えちぜん鉄道、福井駅外2箇所新築       | (鉄道建設運輸施設整備支援機構)  |
| ②小牧実験棟E新設(1)            | (東海旅客鉄道(株))       |
| ③日医工(株)殿向/共通仮設、建築工事一式   | (千代田テクノエース(株))    |
| ④羽島インター工場建設プロジェクト(建築工事) | (千代田テクノエース(株))    |
| ⑤名古屋名駅南ホテル開発新築工事        | (JR西日本不動産開発(株))   |
| ⑥(仮称)大阪淀屋橋プロジェクト新築工事    | ((株)HOWAホールディングス) |

完成工事高につきましては、官公庁工事は62億円、民間工事は214億円で、合計は前期比13億円減の276億円となりました。減少要因としましては、前期からの繰越工事の減が大きな要因であります。

主な当期の完成物件は下記の通りです。

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| ①豊洲新市場(仮称)水産卸売場棟付帯施設建設その他工事 | (東京都財務局)          |
| ②清須市本庁舎増築・改修工事              | (清須市)             |
| ③石川県赤十字血液センター建設工事           | (日本赤十字社)          |
| ④マストスクエア金沢新築工事              | (積和不動産中部(株))      |
| ⑤(仮称)天白区八幡山計画(施工)           | (三井不動産レジデンシャル(株)) |
| ⑥(仮称)江東区三好4丁目計画新築工事         | (日神住宅サポート(株))     |

建築技術の研究開発につきましては、当社にて開発しました耐震補強工法(SMIC工法・集合住宅SMIC工法)の事業展開を進めております。第76期は12件(45構面)の受注となり、件数としては前年度より4件減(77構面減)となりましたが、生産性を向上すべく施工実績を増やし、安定した収益が得られるように努力しています。

工法の研究・開発については、施工方法やSMIC部材の接着方法の研究・実験等を継続的に実施しており、より広範囲での活用とコスト競争力を高め、更なる事業拡大に取り組みます。

# 決算の概況

## 連結貸借対照表

(平成29年3月31日現在)  
(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	47,087	流 動 負 債	29,217
現 金 預 金	10,656	支払手形・工事未払金等	11,175
受取手形・完成工事未収入金等	32,547	電子記録債務	7,587
電子記録債権	380	短期借入金	236
未成工事支出金	440	未払法人税等	659
その他のたな卸資産	389	未成工事受入金	1,416
繰延税金資産	870	完成工事補償引当金	54
そ の 他	1,821	工事損失引当金	46
貸倒引当金	△18	賞与引当金	2,398
固 定 資 産	30,242	役員賞与引当金	69
有形固定資産	12,627	そ の 他	5,573
建物・構築物	8,002	固 定 負 債	9,202
機械・運搬具及び工具器具備品	597	社 債	1,200
土 地	4,016	長期借入金	2,800
建設仮勘定	11	繰延税金負債	2,854
無形固定資産	484	退職給付に係る負債	1,799
ソフトウェア	458	そ の 他	548
そ の 他	26	負 債 合 計	38,419
投資その他の資産	17,130	純 資 産 の 部	
投資有価証券	16,773	科 目	金 額
そ の 他	388	株 主 資 本	31,979
貸倒引当金	△32	資 本 金	1,594
資 産 合 計	77,329	資 本 剰 余 金	1,823
		利 益 剰 余 金	29,510
		自 己 株 式	△948
		その他の包括利益累計額	6,759
		その他有価証券評価差額金	7,173
		退職給付に係る調整累計額	△414
		非支配株主持分	171
		純 資 産 合 計	38,910
		負 債 純 資 産 合 計	77,329

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)  
(単位：百万円)

科 目	金 額	金 額
売上高		
完成工事高	87,721	
兼業事業売上高	1,399	89,120
売上原価		
完成工事原価	77,959	
兼業事業売上原価	1,416	79,375
売上総利益		
完成工事総利益	9,761	
兼業事業総損失	16	9,745
販売費及び一般管理費		4,892
営 業 利 益		4,852
営業外収益		
受取利息	0	
受取配当金	201	
受取地代家賃	65	
そ の 他	53	321
営業外費用		
支払利息	68	
そ の 他	8	77
経 常 利 益		5,096
特別利益		
固定資産売却益	2	
受取保険金	109	
そ の 他	1	113
特別損失		
固定資産売却損	0	
固定資産除却損	8	
投資有価証券評価損	0	
減 損 損 失	67	
そ の 他	3	79
税金等調整前当期純利益		5,130
法人税、住民税及び事業税	1,650	
法人税等調整額	4	1,655
当 期 純 利 益		3,474
非支配株主に帰属する当期純利益		12
親会社株主に帰属する当期純利益		3,462

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 主な完成工事写真

## ●土木



身延線常葉川Bo上部工新設  
(山梨県南巨摩郡)



(仮称) 新規埋立処分場土木造成工事  
(石川県羽咋市)



為栗・温田間102k090m付近架道橋新設工事  
(長野県下伊那郡)



新東名高速道路 高森第二高架橋他3橋 (下部工) 工事  
(神奈川県伊勢原市)



三河安城保線所管内土木構造物大規模改修  
その他工事 (RC橋H28) (愛知県安城市)

## ●建築



マストスクエア金沢新築工事  
(石川県金沢市)



清須市本庁舎増築・改修工事  
(愛知県清須市)



熱海変電所RPC棟新築その他工事  
(静岡県熱海市)



コマツ教習所栗津センタ新築工事  
(石川県小松市)

## 身延線今川橋りょう改築工事について

JR身延線に架かる山梨県の今川橋、早壺川橋の架け替え工程が完了しました。架け替え工事当日は既設の今川橋（約23m）と早壺川橋（約19m）をクレーンにて撤去し、新たな橋として事前に組み立てておいた鎌田川橋（約65.5m）を油圧ジャッキにて横にずらし、既存の線路と繋ぐ活線工法が採用され、約210名の作業員が従事しました。なお、65.5mに及ぶトラス橋を架設する作業は一晩で行われました。

限られた時間の中でしたが、綿密な施工計画のもと工程は計画通り完了しました。

本工事の様子は当社ホームページにて公開しておりますので、是非ご覧ください。



## 「360度」現場を体験できるVR動画を作成

近頃、話題になっているVR（バーチャルリアリティ）技術を用いて動画を作成しました。専用の機器を装着し動画を見ると、360度・立体的な工事現場の風景が広がり、まるで実際に現場に立っているような感覚が味わえます。

福井県福井市で行われている「えちぜん鉄道福井駅付近高架橋工事」現地にて撮影した動画を当社ホームページにて公開しておりますので、是非ご覧ください。





# 女性活躍推進研修を開催

この研修は女性のキャリアアップに向けて今回初めて行われ、「女性活躍推進委員会」のメンバーを含めた社員と幹部社員が各支店より参加し、外部講師の講義を受講しました。

「女性活躍推進委員会」とは、ワークライフバランス、職場環境及び意識啓発活動などを推進し、女性が個々の能力を発揮できるよう設置された委員会です。

講義は「働き方改革日本」の背景理解から始まり、女性活躍推進の必要性と進め方、脳構造の違い等から生まれる男女間での考え方の相違と対処方法などについて説明があり、それぞれ意見交換を行いながら進めました。



# CSR活動

## ■ 東京・中部・大阪各地区でIRセミナーを開催

第76期中に東京地区で1回、中部地区で2回、大阪地区で1回、計4回のIRセミナーを開催いたしました。

いずれも多くの方にご参加いただき、当社を知っていただく良い機会になったと考えております。

今後も当社の特徴や強みを広く認知していただけるよう、IR活動に取り組んでまいります。



## ■ 富士山清掃活動に参加

平成28年8月、「富士山環境美化前期クリーン作戦2016」が開催され、当社も参加しました。

富士山5合目、6合目、山中湖畔に分かれてゴミ拾いを実施し、ゴミの持ち帰りや環境保護への啓発活動として登山者や観光客にポケットティッシュを配布しました。

今後もこのような地域貢献等に積極的に参加していきたいと思っております。



# 『第16次経営計画』 — 平成28年度（第76期）を終えて —

平成27年4月、第75期より当社の中期計画（3ヵ年）である『第16次経営計画』がスタートし、この4月から3年目（最終年）を迎えることとなりました。

今回は2年目でもあった第76期を終えての進捗状況についてご報告します。

## ■ 第76期の取り組みを振り返って

### 【経営目標1】安全の確保と信頼性の向上について

- 第76期は、企業憲章における「安全第一」の理念を再認識するための安全教育を実施し、重大事故を根絶するための安全意識の向上を図りました。その結果、重大な事象はありませんでした。今後も工事の全ての段階においてリスクを排除する取り組みを強化してまいります。
- この点を踏まえ、第77期経営重点事項では『企業憲章の安全教育』『安全のための本質を探究する運動の更なる推進』『工事の各段階でのリスク排除の取り組み』を3つの柱とし、安全意識を高いレベルで醸成させることとしました。

### 【経営目標2】大規模プロジェクトの確実な施工について

- 東海道新幹線大規模改修工事は平成28年度からⅡ期工事が開始され、工事を進めています。また、新幹線脱線・逸脱防止対策工事は平成29年度よりⅡ期工事6年目の施工となりますが、計画通り進んでいます。第77期も早期着手と年間を通した工事量の平準化にも努め、確実な施工を進めていきます。
- リニア中央新幹線建設工事については、情報収集に努め、関東地区のほか中部地区でも受注を目指していきます。
- 建築部門においては、「清須市本庁舎増築・改修工事」「マストスクエア金沢新築工事」などの大型工事や橋上駅化工事の「草薙駅」「春日井駅」「新所原駅」なども計画通り竣工しました。

### 【経営目標3】ゼネコンとしての地位の堅持について

- 土木部門における官公庁工事については、依然として企業間で受注競争が続いていますが、当社の工事実績、継続して積み上げてきた豊富な分析・検証データならびに的確な入札価格の検討など、総合的な取り組みにより、第76期も新たなトンネル工事や橋梁下部工事などの新規工事を受注しています。
- 民間建築工事においては、医薬品関連工事・ビジネスホテルなどの建物種別に重点を絞った営業活動により、「医薬品工場建築工事」「名古屋駅南ホテル開発新築工事」などを特命受注することができ、特命率やコスト削減意識の浸透により利益率向上への取り組みが実を結んでいます。
- JPタワー名古屋については、平成29年4月1日に全面開業いたしました。1階では名古屋駅バスターミナルが供用開始となるほか、地下1階から地上2階まで名古屋駅へ動線が接続され、より利便性が確保されました。これで、計画していた事業はすべて完成となりました。

### 【経営目標4】ゆるぎない経営の確立について

- 離職者の増加による中長期的な要員不足に対応するため、中期要員計画の見直しや新卒採用の増員を行ったほか、経営重点事項の一項目として“多様な人材（高齢者、女性、障害者）の活用などに積極的に取り組む”を盛り込む等、ゆるぎない経営の確立を一歩ずつ進めています。
- 当社ホームページで継続的に情報発信を行い、また同様に新聞など、マスコミへの情報提供など、一般投資家向けのIR活動や全国的な採用活動に繋げることを目的として、広報活動を積極的に展開しています。

## 役員及び株式の状況

### 取締役及び監査役 (平成29年6月27日現在)

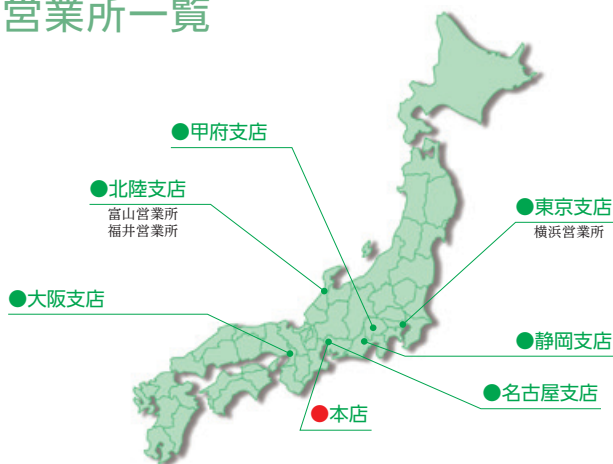
代表取締役社長	渡邊 清
取締役	甲坂 友昭
取締役	佐藤 武男
取締役	岡田 裕輝
取締役	里川 幸夫
取締役	速水 政彦
取締役	墨 弘昭
取締役	栞原 一生※
取締役	藤野 陽三
取締役	本川 正明
常勤監査役	永田 修嗣
常勤監査役	佐藤 寛爾
監査役	山田 雅雄
監査役	新澤 隆

※印は、第76回定時株主総会で新たに選任された取締役です。

### 株式の状況

発行済株式の総数		当期末株主数	
27,060千株		1,932名	
大株主			
株主名	持株数	持株比率	
	千株	%	
東海旅客鉄道株式会社	2,139	8.47	
名工建設社員持株会	1,780	7.05	
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,200	4.75	
株式会社みずほ銀行	1,006	3.98	
株式会社りそな銀行	948	3.75	
株式会社北陸銀行	913	3.61	
MSIP CLIENT SECURITIES	734	2.91	
興和株式会社	635	2.51	
朝日火災海上保険株式会社	632	2.50	
東鉄工業株式会社	524	2.07	

## 営業所一覧



## 会社概要

- 商号  
名工建設株式会社
- 英文商号  
MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.
- 設立  
昭和16年6月28日
- 資本金  
15億9,450万円
- 発行済株式数  
27,060千株
- 従業員数(連結)  
1,319名(平成29年3月31日現在)
- 本店所在地  
名古屋市中村区名駅一丁目1番4号  
JRセントラルタワーズ34階

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載URL <a href="http://www.meikokensetsu.co.jp/koukoku/index.html">http://www.meikokensetsu.co.jp/koukoku/index.html</a>

## ホームページのご案内

<http://www.meikokensetsu.co.jp/>

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しております。  
施工実績、技術紹介など各種情報を掲載しているほか、IR情報のページでは決算短信などもご覧いただけます。

## お知らせ

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

